

観光・イベント情報・お土産・古民家カフェ

9月の休館日
7日(月) 14日(月)
24日(木) 28日(月)

佐川町中1474番地
(うえまち駅内)
☎0889-20-9500
9:00~17:00
〔旧浜口家住宅〕
☎0889-20-9506
売店 9:00~17:00
カフェ10:00~16:00

佐川町の観光拠点より
ホットな話題を
ご紹介いたします

一般社団法人
さかわ観光協会
ぽっ とステーション

公式
facebook

要予約 初心者・中級者向け SNS活用講習会 9月24日(木)

午前の部 (初心者向け) 9:30~11:30
定員: 20名 (先着順)

・SNS、PRの基本知識 ・SNSの役割と特徴
・SNS実践 解説から投稿の基礎

👉 こんな方にオススメ!

・お店でSNSを始めたい ・フォロワーを増やしたい
・SNSを今まで以上に有効活用したい

申込・問合せ さかわ観光協会 ☎0889-20-9500 まで
※申込期限 9月11日(金)

午後の部 (中級者向け) 14:30~16:30
定員: 40名 (先着順)

・SNS、PRの成功事例 ・SNS運用の実践 (ストーリーなど)
・グループディスカッションでの企画立案

講師: 正木 美由子 氏 (グラフィックデザイナー)

誰でも手軽に使えるツールで、自分でできる
効果的な広報スキルを丁寧にお伝えします。



要予約 「佐川町の地質を学ぶ」 ナウマンカルスト散策会

10月10日(土) 9:00~12:30

9:00に佐川地質館に集合

地質館見学～ナウマンカルスト～昼食～解散

参加費: 2,500円(昼食・保険料込み)

定員: 25名

ガイド: ①森 浩嗣 氏(佐川地質館 学芸員)

②栗田 真二 氏(佐川くろがねの会)

昼食: 昼食付

「日本地質学発祥の地」の一つに数えられる佐川盆地で発掘された化石を学芸員の説明付きで見学した後、ドイツの地質学者エドモンド・ナウマンや牧野博士にゆかりの地にあるナウマンカルストを散策します。ナウマンゾウの親子と、羊の群れのような石灰岩が皆さんをお待ちしています。

お申し込みは さかわ観光協会 ☎0889-20-9500 まで
※申込期限 10月6日(火)



要予約 「牧野富太郎の聖地を歩く」 秋の牧野公園山野草散策会

10月11日(日) 9:30~12:30

9:30に佐川町四国銀行横 観光駐車場に集合

～金峰神社～ 牧野公園散策～座敷棟にて昼食～解散

参加費: 2,500円(昼食・保険料込み)

定員: 25名

ガイド: 稲垣 典年 氏

昼食: 昼食付

四季折々の山野草を楽しめる牧野公園を中心に秋の散策会を開催します。「海を渡る蝶」アサギマダラが飛来していれば観察会も行います。散策後は牧野公園にて、みなさんでお弁当をいただきます♪

お申し込みは さかわ観光協会 ☎0889-20-9500 まで
※申込期限 10月6日(火)



ボタニカルニュース ～牧野公園情報

☎ まちづくり推進課 電話 0889-22-7740

秋の気配も見え隠れ♪

9月、暦の上ではもう秋になりました！とはいえ、暑さはいまだ夏真っ盛り！今年は7月12日の梅雨明け以降、振り切ったような猛暑が続いていますが…まあなにせ暑いですね(××;)全国各地で40℃超えも記録されているので、体温超えたところで驚きもなくなっている「慣れ」がなんとも怖いです…。さて、気温は高いですが日照時間は確実に短くなっていて、植物はちゃんとそれを感じ取りながら季節の移ろいを楽しませてくれます！牧野公園でも確実に秋は到来していますよ！ヒメノボタンやオトコエシ、野菊類も咲き始め、秋の花盛りシーズンがスタートしています！暑さの中でも秋を見つけにきて下さいね☆



▲オトコエシ

9月のお花ピックアップ♪

ヒメノボタン (姫野牡丹)

花: 9~10月頃

ノボタン科ヒメノボタン属。県内での生育地はわずか。牧野博士が鳥の巣地区で採取した記録がある。「高知県レッドデータブック2022」の絶滅危惧種ⅠB類に指定されている貴重な植物です！



まちまるごと植物園 SNS 開花情報はこちらでチェック!!



Instagram



Facebook



ホームページ

◀マキベディアもぜひ見てね♪

まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

佐川産のサギソウ、探しています!!

みなさん、サギソウをご存じですか？8月頃にシラサギが羽を広げたような、それは清楚で美しい花を咲かせる植物で、以前は粕谷地区周辺に自生していました。が、今はもう見られなくなってしまい、高知県では絶滅したと言われている植物です…。牧野博士は1887年に粕谷のサギソウを採集し、植物図にしています。(「日本植物志図篇 第1巻」)



▲1892年8月31日、牧野博士が佐川で採集したサギソウの標本写真
※東京大学植物標本室(TI)所蔵
(コードT100287174)

そんな粕谷のサギソウの再生・群生地づくりに取り組まれている「佐川さとやま遊友会」さんが、佐川産のサギソウを探しています。この会は、2022年朝ドラ「らんまん」をきっかけに、佐川の豊かで多様な自然とその恵みを活かし、次世代へとつなぐことを目的に、牧野博士の聖地の道の整備、維持管理に尽力されています^^活動して5年、クズやササ類などで覆われていた道や棚田は見違えるようにきれいに整備されてきました!!…が、しかし!環境を整えても、なかなかサギソウは出てこないそうです…。そこでみなさんに情報提供のお願いがきています!!佐川では30年前頃まで明るい湿地に咲いていたと言われていました。「昔あそこにあった」「近所で採ったサギソウがまだ家にある」など、なにか佐川産のサギソウ情報があれば、ぜひまちづくり推進課までご連絡ください!サギソウが群れ咲く粕谷の景色を目指して、みなさんのご協力をお待ちしております!!